

新たな横断歩道標識の設置効果について

～横断歩行者の更なる交通安全の向上～

令和3年9月、積水樹脂株式会社様のご協力をいただき、福島市内に横断者注意喚起灯付き横断歩道標識を試験設置し、効果検証をした結果、横断者がいる場合の自動車の停止率が向上するなど、効果が認められたことから、今後、県内の必要性の高い箇所へ本格設置を予定しています。

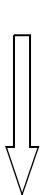
注意喚起灯
(点滅)



横断歩道標識の設置状況（福島二小前）

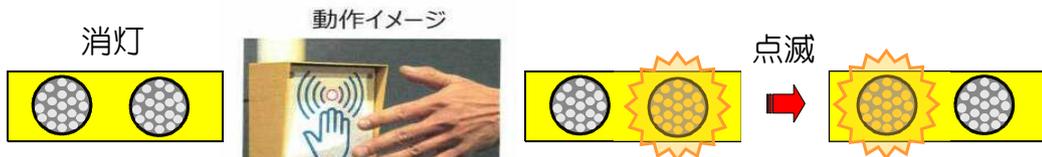
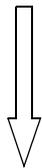
横断者注意喚起灯付き横断歩道標識の仕組み

- 1 横断する前に、歩行者がセンサーに手をかざすと…



標識柱に設置された
センサー部

- 2 標識上方の注意喚起灯が点滅します



センシングすると赤点滅発光で利用者に動作を知らせます。

- 3 ドライバーがいち早く横断歩行者を認知します



ドライバーの皆さんは、注意喚起灯の有無にかかわらず、横断歩道を横断しようとする歩行者がいたら、必ず一時停止してください。

また、歩行者の皆さんも、横断歩道を横断するときは、手をあげるなどしてドライバーに対して横断する意思を明確に伝えましょう。